

令和4年度東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会
土壌肥料研究会（夏期） 開催要領

東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会長
農研機構東北農業研究センター
緩傾斜畑作研究領域長 関矢博幸

1. 趣 旨

肥料価格の高騰が大きな問題となっている。肥料資源の需要は中長期的に高まっており、今後もこの傾向は継続する可能性が高い。そこで、本研究会では、肥料需給の実態を整理し、その対応策について議論する。また3年ぶりの対面での開催であることから、各機関のコロナ禍以降の研究成果についても情報交換を行う。

2. 開催日時 令和4年7月7日（木）13：00～7月8日（金）12：00

3. 開催場所 山形テルサ（山形県山形市双葉町1-2-3 TEL：023-646-6677）
※オンラインを併設

4. 議 題

1) 検討課題「コロナ禍期間中に得られた各機関の主な研究成果」
学会発表形式 10分発表 5分質疑応答×7 課題程度

2) 重点検討事項（土壌肥料学会東北支部会との共催）
講演「肥料高騰下において土壌肥料研究の果たす役割」
「肥料を巡る情勢と技術的対策」

JA 全農耕種資材部肥料課 主席技術主管 加藤直人 氏

「日本と東北地方における養分の収支と利用効率」

農研機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 農業環境情報グループ
上級研究員 三島慎一郎 氏

5. 参集範囲

国立研究開発法人試験研究機関および公設試験研究機関の関係者、大学関係、その他推進部会長が必要と認める者

6. 連絡先

事務局：農研機構東北農業研究センター 水田輪作研究領域 高橋智紀

〒014-0102 秋田県大仙市四ツ屋字下古道3

TEL：0187-66-2775 FAX：0187-66-2639 E-mail：tomoki@affrc.go.jp

7. その他

資料提出などの詳細については、別途事務連絡いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合や、リモート会議またはメール会議等に開催方法を変更する場合があります。

運営事務局は出席者名簿を作成し、万一、会議参加者に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に出席者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。